

平成26年度 功 勞 賞 受 賞 者

(市町村体育協会推薦)

番号	氏 名	ス ポ ー ツ 関 係 歴	推薦団体	推 薦 理 由
1	あかたに よしかつ 赤谷 義勝	平成6年4月～12年3月 旧立川町体育協会 理事 平成12年4月～16年3月 旧立川町体育協会 副会長 平成16年4月～18年3月 旧立川町体育協会 会長 平成18年4月～23年9月 庄内町体育協会 副会長 平成23年9月～26年3月 庄内町体育協会 会長	庄内町 体育協会	旧立川町体育協会理事、副会長、会長を歴任し、合併後庄内町体育協会の副会長として5年間、会長として3年間務められ、永年にわたり地域のスポーツ推進に寄与した。また、30年間、旧立川町スポーツ少年団の指導者としても活躍され、幅広い年代に対してスポーツの魅力を伝え、スポーツ振興に多大な貢献をされた。
2	むらかみ やすじ 村上 泰司	平成4年4月～19年3月 八幡体育協会 副会長 平成19年4月～24年3月 八幡体育協会 会長 平成24年4月～現在 八幡体育協会 顧問	八幡 体育協会	八幡体育協会副会長並びに会長として、歴任期間20年、飽海地区体育協会役員として歴任期間18年と、長きにわたり、八幡地区及び飽海地位のスポーツ振興に大きく貢献された。
3	さとう みのる 佐藤 実	平成元年4月～9年3月 八幡体育協会 理事 平成9年4月～24年3月 八幡体育協会 事務局長 平成24年4月～現在 八幡体育協会 副会長 平成24年4月～現在 山形県体育協会 評議員	八幡 体育協会	八幡体育協会事務局長並びに副会長として歴任期間15年、飽海地区体育協会幹事として歴任期間14年、総合型地域スポーツクラブ「やわたY-Yクラブ」については、設立準備から理事として尽力された。本協会役員として、長年にわたり八幡地区及び飽海地区のスポーツ振興に大きく貢献された。
4	こなた たかあき 今田 幸昭	平成6年4月～12年3月 松山(町)体育協会 副会長 平成12年4月～16年3月 松山(町)体育協会 会長 平成6年4月～21年3月 松山(町)バレーボール協会 会長 平成12年4月～16年3月 山形県体育協会 評議員	松山 体育協会	松山(町)体育協会の副会長を6年間、会長を4年間歴任し、長年にわたり、当協会役員として組織の運営と発展に尽力し、地域のスポーツ振興に大きく貢献された。
5	しんたて としお 新館 俊雄	昭和61年4月～平成6年3月 松山(町)体育協会 副会長 平成6年4月～12年3月 松山(町)体育協会 会長 昭和61年4月～平成12年3月 松山スキークラブ 会長 平成6年4月～12年3月 山形県体育協会 評議員	松山 体育協会	松山(町)体育協会の副会長を8年間、会長を6年間歴任し、長年にわたり、当協会役員として組織の運営と発展に尽力し、地域のスポーツ振興に大きく貢献された。
6	えんどうしゅんぞう 遠藤 俊三	平成16年4月～18年3月 松山(町)体育協会 副会長 平成18年4月～現在 松山(町)体育協会 会長 平成9年4月～現在 松山(町)野球連盟 会長 平成9年4月～現在 酒田地区野球連盟 副会長 平成18年4月～現在 山形県体育協会 評議員	松山 体育協会	松山(町)体育協会の副会長を2年間、会長を9年間歴任し、長年にわたり、当協会役員として組織の運営と発展に尽力し、地域のスポーツ振興に大きく貢献された。
7	とがし ひさし 富樫 恒	平成6年4月～18年3月 松山(町)体育協会 事務局長 平成18年4月～現在 剣友会 会長	松山 体育協会	松山(町)体育協会の事務局長を12年間歴任し、長年にわたり、当協会役員として組織の運営と発展に尽力し、地域のスポーツ振興に大きく貢献された。
8	たなか ひろし 田中 廣	平成6年4月～16年3月、18年4月～24年3月 松山(町)体育協会 副会長 平成16年4月～18年3月 松山(町)体育協会 会長 平成8年4月～13年3月 松山町体育指導委員会 会長 平成12年4月～18年3月 松山スキークラブ 会長 平成8年4月～21年3月 松山インディアカ協会 会長 平成16年4月～18年3月 山形県体育協会 評議員	松山 体育協会	松山(町)体育協会の副会長を16年間、会長を2年間歴任し、長年にわたり、当協会役員として組織の運営と発展に尽力し、地域のスポーツ振興に大きく貢献された。

(競技団体推薦)

番号	氏 名	ス ポ ー ツ 関 係 歴	推薦団体	推 薦 理 由
1	ささき けんじ 佐々木 賢二	昭和60年4月～現在 山形県水泳連盟 競泳委員・理事 平成16年4月～24年3月 山形県水泳連盟 競泳委員長 平成24年4月～現在 山形県水泳連盟 強化委員長	山形県 水泳連盟	永年にわたり、山形県の競泳強化に携わり、数多くの優秀選手を育て、本県水泳界の競泳レベル向上に現在も大きく貢献されている。数多くの教え子がアジア大会等の国際大会や国内大会で優勝・入賞し、特に平成13年インターハイでは、指導をしていた日大山形高校が総合優勝を飾った。また、県水泳連盟強化委員長としても、競泳のみならず水球、飛込み、シンクロの各競技の強化にも尽力されている。
2	さいとう よしまさ 齋藤 好正	平成15年4月～25年3月 山形県セーリング連盟 会長	山形県 セーリング 連盟	山形県セーリング連盟会長として、セーリングの競技力向上と普及活動に物心両面にわたって尽力された。国体等の大会における本県選手の上位入賞に多大な貢献をした。また、長年にわたり自ら大型ヨットを所有し、健常者のみならず障がい者をも自艇に招き乗艇体験事業を行うなど、多くの県民がヨットの素晴らしさを体験できる普及活動に取り組んできた。

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
3	さとう いちろう 佐藤 一郎	平成12年 3月～27年 2月 山形県ゴルフ連盟 事務局長	山形県 ゴルフ連盟	長年にわたり、山形県ゴルフ連盟の事務局長として、ゴルフ競技の普及と競技会への参加促進に尽力された。また、東北総体・国民体育大会の参加選手への技術指導や小・中・高校生等のジュニア選手の育成強化にあたり競技力の向上を図った。本県ゴルフ界の普及・発展に務めた功績は大である。
4	なかざわ けんいち 中澤 健一	昭和62年 4月～平成 4年 3月 山形陸上競技協会 理事 平成 9年 4月～13年 3月 山形陸上競技協会 副会長 平成15年 4月～24年 3月 山形陸上競技協会 会長 平成24年 4月～現在 一般財団法人山形陸上競技協会 顧問	山形陸上 競技協会	山形陸上競技協会の副会長、会長として13年間の長きにわたり、第一線で本協会の先頭に立ち会員の指導を行い、協会の発展と競技会の運営に尽力された。陸上競技を通して、本県のスポーツ発展のために寄与した功績は大きい。
5	うの まさはる 宇野 正春	昭和61年 5月～平成21年 3月 山形市体操協会 副会長 平成21年 4月～現在 山形市体操協会 会長 " 山形県体操協会 副会長	山形県 体操協会	永年にわたり、山形市体操協会並びに山形県体操協会副会長として諸事業の運営に尽力され、協会の発展に寄与した功績は大きく、誠に顕著である。
6	わたなべ よういち 渡部 櫻一	平成 7年 4月～10年 3月 酒田ソフトテニス連盟 理事長 平成10年 4月～18年 3月 酒田ソフトテニス連盟 副会長 平成18年 4月～現在 酒田ソフトテニス連盟 会長 昭和59年 4月～63年 3月 山形県ソフトテニス連盟 理事 平成18年 4月～現在 山形県ソフトテニス連盟 副会長	山形県 ソフトテニス 連盟	高校教員として部活動指導の傍ら、選手として県大会、東北大会に参加した。昭和50年には、少年男子監督として東北総体で準優勝し、伊勢国体に出場した。1級審判資格を持ち、審判講習会の講師を務めるなど、指導的役割も果たした。高校教員退職後は、地元ジュニア選手育成体制の強化、レディーステニス活動への協力等に尽力されている。
7	たけだ たかし 武田 孝	昭和48年 4月～平成10年 3月 米沢地区野球連盟 審判員 平成10年 4月～18年 4月 米沢地区野球連盟 審判副部長 平成18年 5月～現在 米沢地区野球連盟 審判部長 平成10年 4月～現在 高畠町野球連盟 副会長 平成18年 5月～23年 5月 山形県野球連盟 評議員 平成23年 6月～現在 山形県野球連盟 理事 平成18年 5月～現在 山形県野球連盟 審判副部長	山形県 野球連盟	長年にわたり、審判員並びに野球連盟役員として活躍、技術指導員としても多数の審判員を指導育成され、競技力向上を図り、本県野球界の発展に尽力された。また、過去に開催された各種全国大会の運営等に多大な貢献をされた。
8	まるやま けいいち 丸山 啓一	平成 5年 4月～13年 3月 南陽市ソフトボール協会 審判部長 平成13年 4月～21年 3月 南陽市ソフトボール協会 理事長 平成21年 4月～24年 3月 南陽市ソフトボール協会 副会長 平成24年 4月～現在 南陽市ソフトボール協会 会長 平成 5年 4月～13年 3月 置賜地区ソフトボール協会 副審判委員長 平成13年 4月～24年 3月 置賜地区ソフトボール協会 副理事長 平成24年 4月～現在 置賜地区ソフトボール協会 副会長 平成13年 4月～現在 山形県ソフトボール協会 理事・監事	山形県 ソフトボール 協会	審判員として、ベにばな国体をはじめ全国大会等に参加することは勿論のこと、審判技術の向上と後輩への指導育成に尽力された功績は大きい。また、南陽市ソフトボール協会、置賜地区ソフトボール協会並びに山形県ソフトボール協会においては要職に就き、それぞれの協会の事業運営に携われ、各協会の事業及び大会運営に貢献された実績は誠に顕著である。
9	とがし まさとし 富樫 政利	昭和60年 4月～平成 7年 3月 山形県バドミントン協会 競技副委員長 平成 7年 4月～17年 3月 山形県バドミントン協会 競技委員長 平成17年 4月～現在 山形県バドミントン協会 理事 平成23年 4月～現在 山形県ジュニア育成会 事務局長	山形県 バドミントン 協会	永年にわたり、山形県バドミントン協会の常務理事・理事として、大会運営はもとより、本県バドミントン競技の普及発展と指導者育成に情熱を傾け、地域スポーツの活性化と競技力の向上に心身ともに力を注いでいることは、本県スポーツ界の模範とするところであり、その功績は高く評価される。県バドミントン協会と県ジュニア育成会の役員を兼ねながら、協会運営に尽力された功績は特に顕著である。
10	さいとう やすひろ 齊藤 安弘	平成 6年 4月～16年 3月 山形県剣道連盟 理事 平成16年 4月～現在 山形県剣道連盟 審議員	山形県 剣道連盟	県立高等学校の保健体育教諭として、38年にわたり生徒の教育に情熱を注いで真摯に尽力し、剣道部顧問としても団体・個人の計12回インターハイ出場に導いた。また、飽海地区高体連剣道部専門委員長として高校剣道の振興発展に大きく貢献する傍ら、酒田地区並びに本県剣道の普及・振興と国体選手強化に永年の実績を活かし手腕を發揮している。後年は、剣道連盟組織の充実(高体連・剣連の連携)に高邁な識見を持って、本県の剣道振興に大きく貢献された。
11	かすかわ のりひと 粕川 令人	昭和52年 4月～平成17年 3月 山形県山岳連盟 理事・国体委員長 平成17年 4月～21年 3月 山形県山岳連盟 理事長 平成21年 4月～現在 山形県山岳連盟 副会長	山形県 山岳連盟	永年にわたり、県大会・東北総体・国民体育大会に選手並びに監督として出場された。従来の登山競技からクライミング競技へ移行するにあたり、培った経験を十分に生かして選手・審判・競技役員への育成に尽力された。中央競技団体の競技規則改正にあたっては、数多くの改善点を提案し、審査基準の改正に貢献された。また、平成7年・13年に当連盟が派遣した海外遠征ギシリクターク登山隊・ヤルラシャンポ登山隊の主要メンバーとして活躍した。

平成26年度 功労賞(ライオンズスポーツ賞)受賞者

(競技団体推薦)

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
1	つばき ひろし 樫 央	ジャパンカップスピードスケート競技会 第1戦 男子3000m 優勝 由井直樹(山形中央高) ジャパンカップスピードスケート競技会 第2戦 男子5000m 優勝 横山碧生(山形中央高) ジュニアワールドカップスピードスケート競技会 男子マスタート 優勝 由井直樹(山形中央高)	山形県 スケート連盟	県スケート連盟強化部長並びに県立山形中央高校スケート部監督として、長年にわたり選手強化に尽力されている。指導においては、スピードスケート競技の技術面のみならず、人間形成にも重きを置いた強化育成を継続し、多くの国際選手を輩出している。本県スピードスケート界をけん引し、競技力向上への道を大きく開拓し続けている功績は誠に大きい。
2	きむ みよんそく 金 明碩	第70回国民体育大会冬季大会スケート競技会 少年男子 5000m 優勝 横山碧生(山形中央高) 少年男子10000m 優勝 横山碧生(山形中央高) 少年男子2000mリレー 優勝 吉田優太、一戸大地、由井直樹、横山碧生(山形中央高)	山形県 スケート連盟	2012年より、国際スポーツ交流員として県立山形中央高校スケート部の指導にあたり、高校生のみならず本県スピードスケート選手の強化育成に携わっている。出身国である韓国のトップ選手の練習方法を取り入れ、技術・メンタル両面において質の高い指導を行い、全国大会優勝等の好成績に導いた功績は誠に大きい。
3	たかはし まこと 高橋 真	縄 怜奈 第43回シガポールナショナルエージグループ選手権大会 400m自由形他5種目 優勝 第36回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 13~14歳女子400m個人メドレー 優勝 須藤美里 第53回全国中学校水泳競技大会 女子100m背泳ぎ 優勝 第68回国民体育大会 水泳競技 少年女子B100m背泳ぎ 優勝	山形県 水泳連盟	全国の並み居る強豪を抑えて、2名の選手を2年連続優勝に導き、指導者として輝かしい成績を収められた。
4	まき かなえ 槇 佳苗	長谷川鼓 第80回全国高等学校水泳競技大会 400m自由形 優勝 第35回全国ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 CS女子200m・800m自由形 優勝 第35回全国ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会 200m自由形 優勝 西脇怜奈 第81回全国高等学校水泳競技大会 100m背泳ぎ 優勝 第36回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 15~16歳女子100m・200m背泳ぎ 優勝 第82回全国高等学校水泳競技大会 100m・200m背泳ぎ 優勝 第69回国民体育大会 水泳競技 少年女子200m背泳ぎ 優勝	山形県 水泳連盟	全国の並み居る強豪を抑えて、全国高等学校水泳競技大会において2年連続優勝に導き、さらに、西脇怜奈選手を世界短水路選手権に参加させるなど、輝かしい成績を指導者として達成された。
5	あしの たかし 芦野 貴士	平成26年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会 男子K-1 200m・500m K-2 200m・500m K-4 200m・500m 優勝 女子K-4 200m・500m 優勝 学校対抗男子・女子優勝(谷地高) 文部科学大臣杯平成26年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会 男子K-1 200m・500m K-2 500m K-4 200m・500m 優勝 女子K-2 500m K-4 200m・500m 優勝 チーム対抗女子優勝・文部科学大臣杯獲得(谷地高) 第69回国民体育大会 カヌー競技 少年男子K-2 200m・500m 少年女子K-4 200m・500m 優勝(谷地高)	山形県 カヌー協会	高校・大学在学中、多くの全国大会で優勝・入賞を果たし、本県カヌー界を牽引してきた。県立谷地高等学校のカヌー部顧問となった後、監督として今年度はインターハイで男子6冠、女子2冠、学校対抗男女優勝と素晴らしい成績を収められた。また、国体の監督としても尽力され、学校の枠を超えた指導により県勢の優勝に導き、本県のスポーツ活動に大きく寄与された。
6	はしもと よしひさ 橋本 佳久	JOCジュニアオリンピックカップ平成26年度全国中学生カヌー大会 男子K-4 優勝 佐藤旭・設楽航大・鈴木海渡・高橋裕紀(西川中) 女子K-4 優勝 中村天音・中村静玖・布施笑美子・荒木愛佳(西川中)	山形県 カヌー協会	少人数部員のカヌー部にあり、その特性を活かし選手たちの個々の力を引き出す指導で全国大会優勝に導いている。今年度は、男女カヤックフォアにおいてアベック優勝という成績を達成された。その指導は単に競技指導に留まらず、あいさつを通じた人間教育や心の育成も合わせて持っている。カヌーに取り組む姿勢は、県内高校カヌー界への橋渡しとなり、本県スポーツ界の一翼を担っている。
7	ふくしま まさと 福島 雅人	平成26年度全日本実業団バスケットボール競技大会 優勝 第10回全日本社会人バスケットボール選手権大会 優勝 高松宮記念杯第47回全日本実業団バスケットボール選手権大会 優勝 (山形銀行女子バスケットボール部ライヤーズ)	山形県 バスケットボール 協会	山形銀行女子バスケットボール部ライヤーズを、年間3度の優勝(全日本実業団競技大会・全日本社会人選手権大会は3年連続優勝)に導いた。また、年間を通して小・中学生対象のクリニックや高校生・大学生との合同練習会・練習試合を数多く実施し、本県のバスケットボール技術向上、一貫強化及び普及に多大な貢献をされている。

平成26年度 感謝状受賞者

(市町村体育協会推薦)

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
1	ながおか としお 長岡 敏生	平成18年5月～26年5月 上山市体育協会 副会長 平成26年5月～現在 上山市体育協会 顧問	上山市 体育協会	長年にわたり、上山市体育協会の副会長を務められ、組織の発展に多大な貢献をされた。併せて当協会加盟団体である上山市サッカー協会会長をはじめ要職を歴任するとともに、上山市サッカースポーツ少年団の指導者としても活躍された。昭和58年には全日本少年サッカー大会山形県大会でチームを優勝に導くなど、指導者としても手腕を発揮された。また、群馬県館林市とのサッカー交流を大きく発展させ、上山市と館林市とのスポーツ交流協定(平成26年5月締結)の礎を築かれた。